

①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅱ-5-5 農山漁村の多面的機能の維持・発揮
目的	農林水産物の生産の場であるとともに、地域住民の生活の場でもある農山漁村において、農林水産業や地域活動等を推進することで、国土の保全、水源かん養、豊かな自然環境や美しい景観の保全、文化の伝承など、多面的機能の維持・発揮を進めます。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
多面的機能支払取組面積	目標値		22,600.0	23,000.0	23,400.0	23,800.0	ha	集落営農法人数	目標値		229.0	248.0	267.0	286.0	法人	
	取組目標値								取組目標値							
	実績値	22,504.0	22,681.0	22,434.0					実績値	209.0	223.0	235.0				
	達成率	-	100.4	97.6	-	-			達成率	-	97.4	94.8	-	-		
中山間地域等直接支払い制度協定面積	目標値	13,300.0	13,300.0	13,300.0	13,300.0	13,300.0	ha	地域ぐるみの鳥獣対策取組み数（累計）	目標値		31.0	34.0	37.0	41.0	箇所	
	取組目標値								取組目標値							
	実績値	12,597.0	12,815.0	12,928.0					実績値	29.0	33.0	36.0				
	達成率	94.8	96.4	97.3	-	-			達成率	-	106.5	105.9	-	-		
定性目標	該当なし 平成28年度～平成31年度															
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	該当なし															

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>多面的機能支払交付金の活動組織は、一つの集落で構成している組織が多く、かつ、小規模であるため、構成員の高齢化によって事務作業に携われる人材の確保が難しくなっている。</li> <li>高齢化、人口減少が進み、担い手を必要としている県内約3,000の集落の内、約1/3の集落で担い手が不在となっている。また、高齢化等の理由で既存の集落営農組織の解散や休止もみられる。</li> <li>中山間地域等直接支払においては、高齢化などによって5年間の協定継続が難しいなどの理由で協定締結面積が減少していたが、市町村と連携して集落間の統合や連携調整を担う人材を配置したことで徐々に増加している。</li> <li>県内各地で、イノシシやシカ等の野生鳥獣による被害が発生している。このような農林作物の被害は、事業者の経営意欲の低下を招き、耕作放棄地や荒廃森林の増加にもつながることから、中山間地域においては深刻な課題である。</li> <li>水産業、漁村の多面的機能発揮のために、県内13の組織が藻場の保全、漂着物等の処理、国境監視などに取り組んでいる。</li> </ul>
---	--

④総合的な評価

評価時点での総合的な評価  A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいる(見直す点がある) C:あまり順調に進んでいない	判断  <b>B</b>	その理由  <ul style="list-style-type: none"> <li>多面的機能支払については、高齢化や後継者不足などの理由で22の活動組織が取組みをやめたことなどによって、県全体の取組面積が247ha減少した。</li> <li>集落営農組織の法人化は概ね目標に向かって進んでおり、地域を守るしくみづくりにつながっている。また、複数の集落営農組織等が連携する広域連携組織も平成29年度には新たに2つの組織が設立された。</li> <li>中山間地域等直接支払については、高齢化等によって協定の継続が困難となった集落が増えたことで、協定面積が減少していたが、平成28年度から市町村との連携で集落間の統合や連携調整を担う人員を配置したことで、2年連続増加となった。</li> <li>地域ぐるみでの野生鳥獣被害対策の取組みは増えてきたが、全体の被害低減には、まだつながっていない。</li> </ul>
---	--------------------	--

⑤課題の認識

(1)平成31年度末の施策目的の達成状況(予測) A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	判断  <b>B</b>	その理由(④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載)
(2)施策の目的達成に向けての課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>多面的機能支払交付金の活動については、個々の活動組織の事務負担の軽減を図るため、広域化を通じた体制の強化を図る必要がある。また、関係する県の中山間地域対策との連携を進める必要がある。</li> <li>高齢化、人口減少が進んでいる地域において、新たに組織化や法人化を目指す集落の掘り起こしが十分にできていない。また、既存の組織の多くにおいても、将来の後継者確保が喫緊の課題である。</li> <li>中山間地域等直接支払では、小さな集落単位での協定では高齢化等により共同活動の継続が困難となる傾向にあることから、他集落との統合や連携などの集落協定の広域化が必要である。</li> <li>狩猟免許の新規取得者数は横ばいとなっているが、新規取得者が必ずしも有害捕獲の担い手になっていない。</li> </ul>

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業、農村の持つ多面的機能の維持発揮を図るとともに、規模拡大を図る担い手の労力軽減に資するため、活動組織の広域化を通じた事務負担の軽減などにより取組維持を目指すとともに、市町村や関係機関との連携強化を図りつつ、周辺のまだ取り組んでいない農地や中山間地域等直接支払交付金の取組みしか行っていない農地などへの取組拡大を図る。</li> <li>中山間地域等直接支払の対象集落等へのアンケート調査や、その後のヒアリングなどを実施し、組織化、法人化、広域連携化についての地域の意向を確認した上で、対象地域のリストアップや積極的な働きかけを行う。</li> <li>経営面積が小さくても経営の多角化等によって経営が成り立つ集落営農法人を育成しながら、単独の組織では難しい取組みを広域連携組織化によって取り組むことで、所得を確保できる仕組みづくりを進める。一方で、集落の内外から新たな人材を確保し、後継者の育成を推進する。</li> <li>周辺集落との連携や協定の統合などによる広域化を進めるため、集落間の調整役を担う人材の配置を市町村と連携して推進する。</li> <li>農林作物の鳥獣被害軽減に向け、市町村や農業団体と連携し、地域の営農組織等への働きかけを強化する一方で、新規狩猟免許取得者及び有害捕獲の担い手確保に取り組む。</li> <li>藻場の保全、漂着物等の処理、国境監視などの活動によって、水産業・漁村の多面的機能を維持発揮していくには継続的な取組みが必要であり、引き続き、市町村等と連携して活動を支援する。</li> </ul>
---------------------	--

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策Ⅱ-5-5 農山漁村の多面的機能の維持・発揮				
-------	--------------------------	--	--	--	--

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	集落営農体制強化スピードアップ事業	集落営農の法人化と集落営農法人等が連携した広域連携組織づくりにより、地域を守る仕組みをつくる。	64,306	72,331	農業経営課
2	中山間地域等直接支払事業	農業生産活動等を通じて農地が適切に管理されることにより、中山間地域等の農地が持つ多面的機能の維持と集落等の活性化を図る。	1,444,479	1,480,878	農業経営課
3	多面的機能支払交付金事業	農業・農村の有する多面機能を維持・発揮するために、地域住民が一体となった農地・農業用水路等の地域資源や農村環境を守る地域共同活動を推進する。	1,208,491	1,293,689	農村整備課
4	中山間ふるさと・水と土基金事業	県民等が中山間地域等の農業や農村に関する関心を高め、農地等の保全活動に参加する。	23,957	21,751	農村整備課
5	野生鳥獣被害対策事業	農林業被害に対して、効果的・効率的な対策を行う。	114,960	197,755	森林整備課
6	水産多面的機能発揮対策	環境・生態系の維持・回復や安心して活動できる海域の確保など、漁業者等が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する地域の活動を支援する。	4,517	5,668	水産課
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					